

平成31年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験を次のとおり実施します。

平成30年5月11日

奈良県教育委員会教育長 吉田育弘

平成31年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験受験案内

1 試験の日時

(1) 第1次試験

日時	平成30年6月30日(土) 午前8時50分から 一般教養、教科専門及び実技試験 平成30年7月14日(土)～同月16日(月) 指定された日及び時刻 集団面接(個別)
場所	受験票送付予定の平成30年6月4日(月) 午前11時頃に奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページでお知らせする予定です。

(2) 第2次試験

日時	平成30年8月11日(土) 指定された時刻 実技試験 小学校(音楽及び体育) 平成30年8月12日(日) 指定された時刻 実技試験 中学校(音楽、美術及び保健体育)、高等学校(音楽、美術、書道及び保健体育) 平成30年8月13日(月) 指定された時刻 集団面接(討議) 平成30年8月15日(水)～同月19日(日) 指定された日及び時刻 個人面接(模擬授業を含みます。)
場所	平成30年8月6日(月) 午前11時頃に奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページでお知らせする予定です。

2 募集する校種等、教科等及び採用予定者数

校種等	教科等	採用予定者数
小学校		150人程度
中学校	国語16人程度、社会11人程度、数学15人程度、理科11人程度、音楽7人程度、美術7人程度、保健体育12人程度、技術・家庭計7人程度、外国語（英語）14人程度	100人程度
高等学校	国語6人程度、地理歴史3人程度、数学7人程度、理科（物理、化学、生物）計7人程度、音楽1人程度、美術1人程度、書道1人程度、保健体育4人程度、外国語（英語）8人程度、家庭1人程度、農業1人程度、工業（電気・情報）1人程度、商業2人程度	43人程度
特別支援学校	自立活動（肢体不自由教育）を含みます。	35人程度
養護教諭		10人程度
栄養教諭		6人程度
実習助手	専門学科（工業）、専門学科以外	3人程度

高等学校の保健体育及び商業は、大和高田市立高田商業高等学校の各々1人を含みます。

3 受験資格

次に掲げる要件の全てに該当すること。

(1) 平成31年4月1日現在において、年齢が次のいずれかに該当する人

- ・昭和54年4月2日以降に出生した人
- ・昭和43年4月2日～昭和54年4月1日に出生した人で、平成30年3月31日現在において過去に3年（36月）以上の勤務実績を有する人
- ・昭和34年4月2日～昭和43年4月1日に出生した人で、任期の定めのない奈良県公立学校栄養職員として、平成30年3月31日現在において過去に3年（36月）以上の勤務実績を有する人

※ 上記勤務実績月数には、国立及び公立学校の教諭、私立学校の正規の教員の経験月数を含みます。また、奈良県公立学校常勤講師（市町村費常勤講師を含みます。）及び実習助手（臨時的任用を含みます。）の経験月数、さらに、栄養教諭にあつては奈良県公立学校栄養職員の経験月数、実習助手にあつては寄宿舍指導員（臨時的任用を含みます。）の経験月数もそれぞれ含みます。（いずれも非常勤職員の期間を除きます。）

なお、育児休業、休職及び停職の期間は勤務年数から除算します。

(2) 受験する校種等で以下の免許状を所有する人又は平成31年3月31日までに取得見込みの人で、所有する免許状の有効な状態を平成31年4月1日現在で保持できる人

校 種 等	所有する教育職員免許状及び資格
小 学 校	小学校教諭の普通免許状
中 学 校	受験教科等の中学校教諭の普通免許状
高 等 学 校	受験教科等の高等学校教諭の普通免許状
特別支援学校	特別支援学校教諭の普通免許状
養 護 教 諭	養護教諭の普通免許状

栄 養 教 諭	栄養教諭の普通免許状
実 習 助 手	教諭普通免許状の有無は問いませんが、専門学科の実習助手を志望する場合は、工業に関わる実務経験又は技術を有することが望ましい。また、専門学科以外の実習助手を志望する場合は、特別支援教育、医療、福祉関係又は農業教育の専門性を有することが望ましい。

- (3) 学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
- (4) 自力通勤ができ、かつ、介護者なしで職務遂行が可能な人
- (5) 県内どこにでも勤務できる人

4 選考種別

ア 一般選考

(1) 募集する校種等、教科等

「2 募集する校種等、教科等及び採用予定者数」と同じ。

(2) 受験資格

「3 受験資格」と同じ。

(3) 出願手続

「5 出願手続について」と同じ。ただし、平成31年4月1日現在40～50歳（生年月日：昭和43年4月2日～昭和54年4月1日）で国立及び公立（奈良県以外）学校の教諭、私立学校の正規教員として勤務実績を有する人は、出願時に在職証明書（職名及び在職期間が明記されているもの、様式は自由）を提出（インターネットで出願後、速やかに郵送）してください。

(4) 選考方法

「7 選考方法及び結果発表について」と同じ。

(5) 選考種別の複数選択について

ほかの選考種別を併せて選択することはできません。

イ 教職経験特別選考

(1) 募集する校種等、教科等

「2 募集する校種等、教科等及び採用予定者数」と同じ。（ただし、実習助手を除きます。）

(2) 受験資格

次に掲げる要件の全てに該当すること。

① 平成31年4月1日現在、年齢が次のいずれかに該当する人

50歳（生年月日：昭和43年4月2日以降）まで。ただし、奈良県公立学校栄養職員（任期の定めのない人に限ります。）は59歳（生年月日：昭和34年4月2日以降）まで。

② 「3 受験資格」(2)～(5)の全てに該当する人

③ 国立若しくは公立（奈良県以外）学校の現職教諭又は私学の正規の現職教員として勤務し、かつ、平成30年3月31日現在において3年以上の勤務実績を有する人、若しくは奈良県内の公立学校において、平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間で通算3年（36月）以上常勤講師の勤務実績を有する人（1月に満たない場合は、それぞれの日数を通算し、30日を1月とみなします。ただし、通算後の残りの日数が15日以上の場合も1月とみなします。栄養教諭にあっては、本県公立学校栄養職員の経験月数を含みます。）

(3) 出願手続

「5 出願手続について」と同じ。ただし、国立及び公立（奈良県以外）学校の現職教諭、私立学校の正規の現職教員は、出願時に在職証明書（職名及び在職期間が明記されているもの、様式は自由）を提出してください。

(4) 選考方法

第1次試験では一般教養試験及び集団面接を免除し、教科専門及び実技試験における合格最低点（一般選考同校種等・教科等受験者）以上の人を合格とします。第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います。

(5) 選考種別の複数選択について

「小学校英語教育推進特別選考」又は「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」を併せて選択することができます。

ウ 小学校英語教育推進特別選考

(1) 募集する校種等、教科等

小学校。ただし、小学校英語専科担当の募集ではありません。学級担任及び英語

(外国語活動) 以外の教科も担当します。

(2) 受験資格

次に掲げる要件の全てに該当すること。

① 「3 受験資格」(1)～(5)の全てに該当する人

② 次のいずれかに該当する人

- ・小学校教諭普通免許状及び英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状を共に所有

- ・小学校教諭普通免許状を所有し、「9 加点申請」⑥のいずれかの資格を取得

※ 免許状のみ、平成31年3月31日までに取得見込みを含みます。

(3) 出願手続

「5 出願手続」についてと同じ。

(4) 選考方法

第2次試験の内容は一般選考(小学校)と同じ実技試験、集団面接(討議)のほか、外国語活動の模擬授業を含む個人面接を行います。

(5) 選考種別の複数選択について

「教職経験特別選考」を併せて選択することができます。

(6) 加点について

「9 加点申請」①、⑥、⑦の要件を全て満たしている場合は、第1次試験において最高26点を加点します。

エ 中学校・高等学校英語教育推進特別選考

(1) 募集する校種等、教科等

中学校外国語(英語)及び高等学校外国語(英語)

(2) 受験資格

次に掲げる要件の全てに該当すること。

① 「3 受験資格」(1)～(5)の全てに該当する人

② 出願時点で、実用英語技能検定(日本英語検定協会)1級合格、TOEFL(国際教育交換協議会)PBT600点以上若しくは同CBT250点以上、同iBT100点以上、TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)860点以上取得のうち、いずれかに該当する人

(3) 出願手続

「5 出願手続」についてと同じ。

(4) 選考方法

第1次試験では教科専門試験を免除し、一般教養及び集団面接における合格最低点（一般選考同校種等・教科等受験者）以上の人を合格とします。第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います。

(5) 選考種別の複数選択について

「教職経験特別選考」を併せて選択することができます。

オ 社会人を対象とした特別選考

(1) 募集する校種等、教科等

校 種 等	教 科 等
高等学校	数学、理科（物理、化学及び生物）、農業、工業（電気・情報）、商業
特別支援学校	自立活動（肢体不自由教育）

(2) 受験資格

次に掲げる要件の全てに該当すること。

- ① 学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
- ② 平成31年4月1日現在、年齢が50歳（生年月日：昭和43年4月2日以降）までの人
- ③ 数学及び理科（物理、化学及び生物）を受験する場合は、大学を卒業又は大学院を修了しており、研究施設、民間企業（教育事業を除きます。）、官公庁等（公立学校を除きます。）に現に正規職員として3年以上の勤務経験を有する人
- ④ 農業、工業（電気・情報）、商業を受験する場合は、受験する教科に関わる3年以上の実務経験を有する人
- ⑤ 特別支援学校の自立活動（肢体不自由教育）を受験する場合は、看護師の免許を取得後、3年以上の実務経験を有する人

※ ③、④、⑤の勤務経験又は実務経験は、平成30年3月31日までの常勤のものとしします。

⑥ 受験する校種及び教科の教諭普通免許状の有無は問いません。ただし、次のア及びイに掲げる条件に該当することが必要です。

ア 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する人

イ 教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている人

なお、相当の教諭普通免許状を所有しない場合は、合格後に特別免許状申請の手続が必要となります。

(3) 出願手続

「5 出願手続について」と同じ。ただし、出願時に2,000字以内の自己推薦文（A4判、様式自由）を提出（インターネットで出願後、速やかに郵送）してください。

(4) 選考方法

第1次試験における一般教養に替えて、個人面接を実施します。第1次試験では教科専門及び集団面接における合格最低点（一般選考同校種・教科受験者）以上、かつ、個人面接における基準点以上の人を合格とします。第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います。

(5) 選考種別の複数選択について

ほかの選考種別を併せて選択することはできません。

(6) その他

第2次試験に合格した場合は、在職・勤務証明書等（A4判、様式自由）を提出してください。

5 出願手続について

(1) 出願手続期間について

出 願 方 法	出 願 期 間
インターネット (注) 奈良県ホームページから「電子自治体」のe 古都なら（電子申請）を選択後、	平成30年5月9日（水） 9:00

<p>申請・届出を選択してください。</p> <p>※ 障害等があり、受験に際して配慮を希望する人は、受験上の配慮事項欄に具体的な内容を入力してください。</p>	<p>～</p> <p>5月25日（金）</p> <p>17:00</p>
---	---------------------------------------

(2) 出願書類等

出 願 書 類		
<p>ア 次の選考区分及び要件に該当する人は、電子申請（インターネット）で出願した上で、速やかに必要な提出書類を簡易書留で郵送してください。書類が確認できない場合、受験票・写真票を送信することができませんので、注意してください。</p> <p><郵送先> 〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課人事企画係（住所不要）</p> <p>※ 封筒の表面に「出願関係書類在中」と朱書する。</p>		
選考種別	要 件	提出書類
一般選考	生年月日が昭和43年4月2日～昭和54年4月1日で、 国立及び奈良県以外の公立学校の教諭、私立学校の正規教員	在職証明書 A4判 様式自由 職名・在職期間 が明記されたもの
教職経験特別選考	国立及び奈良県以外の公立学校の現職教諭、私立学校の正規の現職教員	
中高英語特別選考		英語資格に係る実施団体発行の証明書コピー

社会人 特別選考		自己推薦文 (A4判) 様式自由 2,000 字以内
大学院 特別選考		大学院・教職大学院特別 選考受験承認書

イ 平成30年6月4日(月)にメール送信される受験番号・試験会場が入力されたC票(受験票)・D票(写真票)をプリントアウトし、D票に写真を貼付して平成30年6月15日(金)までに奈良県教育委員会事務局教職員課まで書留郵便で郵送してください。また、C票にも同じ写真を貼付けて第1次試験当日に持参してください。

6 試験について

(1) 第1次試験について

試験内容	実施方法	出題内容、課題、持参物等
一般教養	マークシート	教職教養と時事問題を出題し、マークシートで解答します。
教科専門	筆記	<p>小学校並びに中学校及び高等学校の国語、社会、数学、理科、外国語(英語)、音楽、保健体育では、マークシートで解答する問題があります。</p> <p>小学校の英語並びに中学校及び高等学校の外国語(英語)は、リスニング問題を含みます。</p> <p>高等学校地理歴史及び理科は、全ての領域の内容を出題範囲とする共通問題(全員解答)と選択問題(2領域を選択し、それぞれ解答)を出題します。</p> <p>※ 地理歴史は世界史、日本史、地理から2領域を選</p>

		<p>択。理科は出願時に選択した領域を含め、物理、化学、生物から2領域を選択。</p>
集団面接（個別）		<p>中学校及び高等学校外国語（英語）受験者は、英語による質問があります。</p>
実技試験	<p>中学校 高等学校 音楽</p>	<p><ピアノによる弾き歌い> 下記の①～③のうち、当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて主旋律を歌唱します。 ※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。 ※ 調及び使用する伴奏譜については、特に指定しません。</p> <p>中学校</p> <p>① 「赤とんぼ」 三木露風 作詞／ 山田耕筰 作曲 ② 「荒城の月」 土井晩翠 作詞／ 滝廉太郎 作曲 ③ 「早春賦」 吉丸一昌 作詞／ 中田 章 作曲</p> <p>高等学校</p> <p>① 「Caro mio ben」 Giordani 作曲 ② 「An die Musik」 Schubert 作曲 ③ 「この道」 北原白秋 作詞／山田耕筰 作曲</p>
	<p>中学校 高等学校 美術</p>	<p><鉛筆による素描> 素描に使用する用具、画板を持参してください。</p>
	<p>高等学校 書道</p>	<p>書道用具を持参してください。</p>
	<p>中学校 高等学校</p>	<p>器械運動（マット運動）、陸上競技（ハードル走） ※ 運動着及び体育館用運動靴を持参してください。</p>

	保健体育	
--	------	--

(2) 第2次試験（実技試験）について

校 種	教 科	課題及び持参物等
小学校	音楽	<p><歌唱></p> <p>下記の①～③のうち、当日指示する曲を無伴奏で歌唱します。※ 楽譜は試験場に用意しています。</p> <p>① 「茶つみ」 文部省唱歌</p> <p>② 「さくらさくら」 日本古謡</p> <p>③ 「もみじ」 高野辰之 作詞／岡野貞一 作曲 文部省唱歌</p> <p><器楽演奏></p> <p>ピアノ、ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカの中から各自選択し、任意の曲を演奏します。</p> <p>※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。</p> <p>※ ピアノ以外の楽器は各自持参してください。</p>
	体育	<p>器械運動（マット運動）、水泳（クロール）、ボール運動（ゴール型）及び走・跳の運動（小型ハードル走等）</p> <p>※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</p> <p>※ 荒天により水泳ができない場合は、体づくり運動（多様な動きをつくる運動）を実施します。</p>
中学校 高等学校	音楽	<p><任意の箏曲を暗譜で演奏></p> <p>箏の調弦（13弦平調子を基本とします。）をし、任意の箏曲を1曲暗譜して演奏します。（10分以内）</p>

		<p>※ 爪は各自持参してください（流派は問いません。）。</p> <p>※ 調子笛等の持ち込みは禁止します。（ピアノで最初の音をとっても構いません。）</p> <p><ピアノによる弾き歌い></p> <p>当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて歌唱します。</p>
中学校 高等学校	美術	<p><水彩による表現></p> <p>水彩画に使用する用具及び画板を持参してください。</p> <p>画架の持参は自由です。</p>
高等学校	書道	書道用具を持参してください。
中学校 高等学校	保健体育	<p>武道（柔道又は剣道を選択）、水泳（背泳ぎ、平泳ぎ、クロール）、球技（ゴール型：バスケットボール）、ダンス（現代的なリズムのダンス）</p> <p>※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</p> <p>※ 荒天により水泳ができない場合は、球技（ネット型：バレーボール）を実施します。</p>

7 選考方法及び結果発表について

(1) 第1次試験の選考方法

小学校は一般教養<100点満点>、教科専門<200点満点>（国語・社会・数学・理科・英語（リスニングを含む））、集団面接（個別）<100点満点>及び加点の合計により判定します。

中学校及び高等学校（実技試験有）は一般教養<100点満点>、教科専門<150点満点>、実技試験<50点満点>、集団面接（個別）<100点満点>及び加点の合計により判定します。

中学校及び高等学校（実技試験無）、特別支援学校、養護教諭並びに栄養教諭は一般教養<100点満点>、教科専門<200点満点>、集団面接（個別）<10

0点満点>及び加点の合計により判定します。

実習助手は一般教養<100点満点>、集団面接(個別)<100点満点>及び加点の合計により判定します。

なお、教職経験特別選考、中学校・高等学校英語教育推進特別選考、社会人を対象とした特別選考については、別途判定します。

(2) 第2次試験の選考方法

小学校は実技試験<50点満点>、集団面接(討議)<100点>及び個人面接<200点満点>の合計得点を基に総合的に判定します。

中学校及び高等学校(実技試験有)は実技試験<100点満点>、集団面接(討議)<100点>及び個人面接<200点満点>の合計得点を基に総合的に判定します。

中学校及び高等学校(実技試験有)以外は集団面接(討議)<100点>及び個人面接<200点満点>の合計得点を基に総合的に判定します。

(3) 上記各試験には、それぞれ合格基準があり、基準に達しない場合は不合格となります。したがって、合計得点が上位であっても不合格となる場合があります。

(4) 第1次試験の結果は平成30年8月1日(水)、第2次試験の結果は平成30年9月14日(金)、どちらも午前10時頃に奈良県庁正面掲示場に掲示するとともに、午前11時頃に奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページに掲載し、また、それぞれ本人宛にも通知します。ただし、電話での問合せに応じることはできません。

(5) 合格通知後であっても、第1次試験及び第2次試験で不正が発覚した場合、合格を取り消します。

8 名簿登載及び採用について

(1) 合格者は、奈良県公立学校教員採用候補者名簿に登載し、原則として平成31年4月1日に採用します。

(2) 名簿登載後であっても、願書に虚偽の記載をしたこと又は「3 受験資格」の要件を満たさないことが判明した場合は、採用内定を取り消すことがあります。

(3) 第2次試験に合格した人で、専修免許状取得のために大学院又は教職大学院に進学・進級する場合は、採用猶予申請書(様式は後日、教職員課ホームページに掲載します。)と、大学院または教職大学院に修学している(する)ことを証明する書

類を提出してください。平成30年度に修学中の人は1年間、平成31年度に修学する人は2年間、名簿登載期間を延長します。

(4) 日本国籍を有しない人を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。

9 加点申請

(1) 次の①～⑦に該当する人については、「加点申請」することにより第1次試験に限り加点します。ただし、第1次試験が一部免除となる特別選考を受験する場合には、加点はありません。（〔 〕は加点する点数）

※ ①～⑤に限り、平成31年3月31日までに取得見込みの人を含みます。

① 小学校を受験する人のうち、次のいずれかに該当する人（1つだけ申請できます。）

- ・一般選考受験者で、小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有〔6点〕
- ・小学校英語教育推進特別選考受験者で、小学校及び中学校教諭普通免許状（英語以外）を共に所有〔6点〕
- ・小学校英語教育推進特別選考受験者で、小学校及び中学校教諭普通免許状（英語）を共に所有〔10点〕

② 中学校を受験する人のうち、次のいずれかに該当する人（1つだけ申請できます。）

- ・一般選考受験者で、小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有〔6点〕
- ・一般選考受験者で、「音楽」「美術」「技術」「家庭」を含む中学校教諭普通免許状を複数所有〔6点〕

③ 中学校を一般選考で受験する人のうち、「司書教諭」の資格を所有する人〔6点〕

④ 高等学校を一般選考で受験する人のうち、受験する教科等の高等学校教諭普通免許状と「情報」の高等学校教諭普通免許状を共に所有する人〔6点〕

⑤ 高等学校地理歴史を一般選考で受験する人のうち、「地理歴史」と「公民」の高等学校教諭普通免許状を共に所有する人〔6点〕

⑥ 実用英語技能検定（日本英語検定協会）準1級以上合格、TOEFL（国際教育交換協議会）PBT550点以上、CBT213点以上若しくはiBT80点以上取得又はTOEIC（国際ビジネスコミュニケーション協会）730点以上

のいずれかの資格を取得している人のうち、次に該当する人

- ・小学校一般受験者〔6点〕
- ・小学校英語教育推進特別選考、中学校又は高等学校外国語（英語）の一般選考受験者〔10点〕

⑦ 全ての校種等、教科等において、一般選考で受験する人のうち、臨床心理士、社会福祉士又は精神保健福祉士のいずれかの資格を所有する人〔6点〕

(2) 加点を申請する場合は、インターネット出願の際に「加点申請」欄の申請したい項目を選択して申請してください。この申請ができていない場合には、たとえ資格を満たしていても加点はできません。

(3) 加点申請する人のうち、上記(1)の①～⑤に該当する人は加点申請欄に記入した免許状等のコピーを、(1)の⑥に該当する人は実用英語技能検定、TOEFL又はTOEICの実施団体が発行する資格証明書のコピーを、(1)の⑦に該当する人は臨床心理士、社会福祉士又は精神保健福祉士の資格証明書のコピーを平成30年6月30日（土）の第1次試験受験当日に必ず持参してください。

(4) 上記の(1)の①～⑤において、取得見込みで採用試験に合格した人は、取得後に必ず奈良県教育委員会事務局教職員課まで上記の必要な書類のコピーを提出してください。

(5) 必要な書類のコピーを提出しない場合又は取得見込みで受験し、平成31年3月31日までに取得できなかった場合は、加点が無効となります。このため、採用内定が取り消されることがあります。

10 受験案内交付について

① 直接受け取る場合

奈良県教育委員会事務局教職員課、奈良県東京事務所及び奈良県産業会館（大和高田市）において交付します。

② 郵送により取り寄せる場合

返信用封筒（角2封筒に140円切手を貼り、宛先を記入したもの）を同封したものを、〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課（住所不要）まで送付してください。

③ インターネットでダウンロードする場合

奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページから受験案内をダウンロードし

てください。

- 11 この試験についての問合せは、奈良市登大路町30番地 奈良県教育委員会事務局 教職員課（電話0742-27-9844）において受け付けます。